

# TKS report vol.17

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

## 第109期年次報告書

2014年3月1日～2015年2月28日

株式会社 **東京衡機**  
**TOKYO KOKI CO. LTD.**

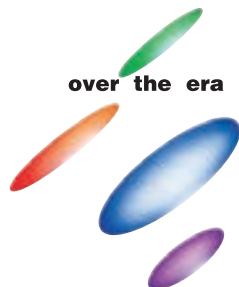
【東証2部上場（証券コード7719）】

## ■ トップメッセージ/企業理念



## contents

トップメッセージ/企業理念	—	1
決算ハイライト	—————	2
事業内容	—————	3
事業の概況	—————	4
特集 クリーブ試験機	—————	5
連結財務諸表 (概要)	—————	7
トピックス	—————	9
株式情報/会社概要/役員等	—————	10



代表取締役会長兼社長  
石川 隆一

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第109期（2014年3月1日～2015年2月28日）は、政府による経済パッケージの着実な履行で景気が下支えされたことに加え日本銀行の金融緩和政策の継続を背景に円安傾向が持続したことから、輸出関連産業を中心に企業収益が改善し株価の上昇に拍車がかかるとともに、個人消費の持ち直しが見られ、年度後半は経済の拡大傾向が顕著になりました。

このような状況の下、当社グループは、昨年7月より、新役員体制の下、グループマネジメントの強化とグループシナジーの向上に取り組み、不採算事業の再構築や中国事業の再編などグループの構造改革に着手いたしました。

当期の業績につきましては、民間設備投資の増大傾向と軌を一にして試験機事業の受注環境は改善いたし

ましたが、期初の消費税率引上げ後の反動減の影響もあって売上は計画を下回り、住生活事業とゆるみ止めナット事業につきましても事業改革半ばで十分な成果は出せませんでした。

今後の見通しにつきましては、主要国中央銀行の金融緩和策を原動力にして世界経済は引き続き緩やかな回復が続くものと見られ、我が国経済も輸出環境の改善や株高による消費者マインドの改善が続き景気拡大が持続することが期待されます。当社といたしましては、グループ全体として安定的な黒字基調を確立すべく、今後もグループの構造改革を進めるとともに、グループ企業間の連携をより一層深め、全力を挙げて業績の改善・向上に取り組み所存であります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**TKS**  
TOKYO KOKI

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY  
「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と  
顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、  
“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を  
尊重する”とともに、やさしさと  
温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、  
地域からも“信頼される  
企業市民”であり続けます。

## 決算ハイライト

### 第109期 (2014年3月1日～2015年2月28日)

	連結業績	個別業績 (当社単体)
売上高	5,837百万円 (前年度比 1.1%)	2,430百万円 (前年度比 △1.1%)
営業利益	47百万円 (前年度比 ー%)	△93百万円 (前年度比 ー%)
経常利益	53百万円 (前年度比 ー%)	△66百万円 (前年度比 ー%)
当期純利益	△237百万円 (前年度比 ー%)	△75百万円 (前年度比 ー%)
1株当たり当期純利益	△3円34銭	△1円05銭

### 業績のポイント

- ①試験機事業は、受注環境に改善の傾向が見られるも、年初の当社単体の受注低迷が影響し、受注・売上は計画をやや下回る
- ②住生活事業は、国内新規事業の売上が遅れ、中国子会社も売上は計画未達ながら損益はほぼ計画通り
- ③ゆるみ止めナット事業は、事業構造改革を実施し、売上は前年度比で増加したものの、損益は未だ改善せず

当連結会計年度は、試験機事業では、子会社の試験機事業は万能試験機等の標準的製品を主体に受注高、売上高ともに前連結会計年度に比し堅調に推移いたしました。特殊製品の受注生産が主体である当社単体の売上高が景気の上昇基調が弱まった年初4ヶ月間の受注低迷の影響を受けて伸び悩み、損益面でも研究開発費の増加等により計画を下回ったことから、試験機事業全体としては計画を下回る実績となりました。

住生活事業では、国内では波形手すりや健康関連商品等の既存商品の販売は目立った伸びが見られず、新規の住宅関連事業も計画の大部分が来期にずれ込むこととなったため、売上は低調に推移しました。中国子会社については、家具部品等の販売が計画を下回るとともに、服飾関連製品の販売が円安で低迷したことを主因に中国事業全体の売上実績は計画を下回りましたが、損益実績はほぼ計画通りとなりました。

ゆるみ止めナット事業では、主力製品であるハイパーロードナットの鉄道や高速道路施設等での採用が広がっておりますが、当連結会計年度は商社向け販売が伸びず、その他の商品の販売も低迷したことから売上高では前連結会計年度より増加したものの計画を下回り、損益についても改善は見られませんでした。なお、ハイパーロードナットの生産を担っていた(株)KH1は事業実績の不振に因る財務内容の悪化を主因に平成26年11月17日に解散し、この事業構造改革に伴う損失を事業再編損として特別損失に計上いたしました。

以上の結果、当期の連結業績および個別業績は上記のとおりとなりました。

## ■ 業績の見通し (2015年4月14日の業績予想公表時点)

### 第110期 (2015年3月1日～2016年2月29日)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績	通期	5,400百万円	50百万円	30百万円	20百万円
個別業績 (当社単体)	通期	2,450百万円	公表値なし	12百万円	4百万円

## 事業内容

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供するゆるみ止めナット事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

### 試験機事業

試験機の開発・設計・生産からメンテナンス・校正まで高度な技術力によりワンストップソリューションをご提供しています。



試験機事業

### 住生活事業

中国子会社のプラスチック成型技術を活かし暮らしやライフスタイルに関わる生活用品や自動車関連などのプラスチック部材の企画開発、製造販売を行っています。



住生活事業

**TKS**  
TOKYO KOKI

Technology and Knowledge Enrich Society

ゆるみ止め  
ナット事業



### ゆるみ止めナット事業

画期的なアイデアと独自の技術で開発したゆるみ防止スプリングを内蔵したナットとナットの脱落を防止するスプリングを製造・販売しています。



アジア地域における拠点



## 事業拠点



### 事業所

本社・相模工場  
〒252-0151  
神奈川県相模原市緑区三井315番地

本店  
〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地  
第7棟ビル6階

西日本支店  
〒532-0033  
大阪府淀川区宮原四丁目1番45号  
新大阪八千代ビル2階

### 国内子会社

株式会社東京試験機 (本社・工場：愛知県豊橋市)  
株式会社東京衡機試験機サービス (本社：神奈川県川崎市)  
株式会社テークステレコム (本店：東京都千代田区)  
株式会社KH I ※清算手続き中

### 海外子会社

無錫三和塑料製品有限公司 (中国江蘇省無錫市)  
無錫特可思電器製造有限公司 (中国江蘇省無錫市)  
瀋陽特可思木芸製品有限公司 (中国遼寧省瀋陽市)  
上海參和商事有限公司 ※出資持分譲渡手続き中  
特可思 (北京) 進出口有限公司 ※清算手続き中



## 事業の概況

当社グループは、中長期的な経営戦略として、①試験機事業のブランド力の強化、②既存事業の深耕化と関連事業の強化、③海外市場への展開 を掲げ、以下のとおり事業を展開しております。

### 1 試験機事業の ブランド力の強化

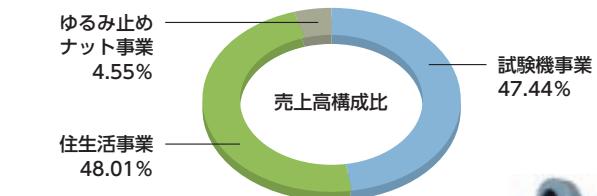
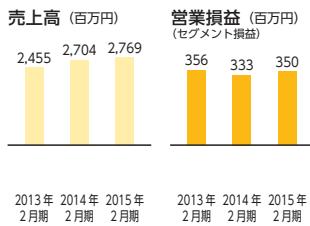
### 2 既存事業の深耕化と 関連事業の強化

### 3 海外市場への展開



#### 試験機事業

売上高	2,769百万円
営業利益 (セグメント利益)	350百万円

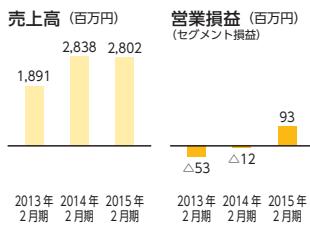


当期は、グループ3社の製品・メンテナンスサービスの一体営業、標準品のラインアップの充実と代理店網の活性化、提携先の独Zwick社製品の拡販を通じた新たな市場の開拓および原価・工程管理の強化に取り組みました。また、事業の拡大に向けて、小型疲労試験機のシェアを伸ばすべく付加機能の開発に取り組みるとともに、中国をはじめとする海外市場での試験機販売網の構築に向け準備を行っています。



#### 住生活事業

売上高	2,802百万円
営業利益 (セグメント利益)	93百万円

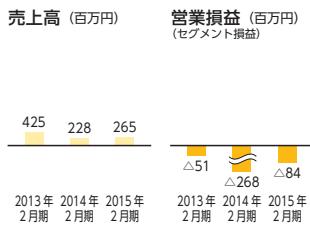


当期は、国内については波形手すり等の既存商品の販売に目立った伸びは見られず、新規の住宅関連事業も来期への売上のずれ込みがあり低調に推移しました。中国子会社については、オフィス家具や自動車部品の製造で事業基盤を拡大しつつある江蘇省無錫市所在の無錫三和塑料製品有限公司に対し増資の引受けや総経理を含む人材派遣等を実施するとともに、事業分野の選択と集中の観点から子会社の再編に取り組みました。



#### ゆるみ止めナット事業

売上高	265百万円
営業損失 (セグメント損失)	△84百万円



当期は、高速道路施設や鉄道関係を中心にハイパーロードナットの拡販に取り組みましたが、商社向け販売が伸びず、その他の商品の販売も低迷しました。本事業につきましては、製造子会社の(株)KHIが財務内容の悪化により平成26年11月17日に解散いたしました。親会社である当社がユーザーに対する供給責任の観点から引き続き販売活動を行うほか、収益体制を確立すべく、生産拠点・生産方法の抜本的な見直しを行っています。



特集

# クリープ試験機



今回は当社の  
製品ラインアップの中から  
クリープ試験機について  
紹介いたします。



## クリープ試験機とは

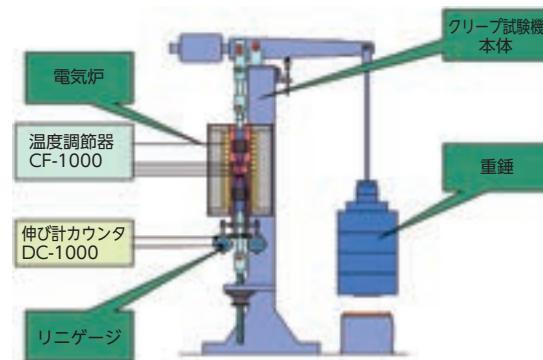
クリープ試験機は、一定温度、一定応力のもとで時間の経過とともに材料の変形が進行する現象を試験するための装置です。

一般的に金属は高い温度ほどクリープ疲労が早いとされています。高温環境で金属材料を使用している火力・原子力発電用タービン、航空機エンジンなどの分野では材料の特性を知るためにこのクリープ試験機がかかせないものとなります。

※ 注) クリープ (creep) とは、日本語では「這う、のろのろ動く」という意味です。

## 試験機の構造

- 重錘.....一定応力を与えるための錘
- 電気炉.....一定温度に保つためのヒータ装置
- 温度調節器.....電気炉を制御するための温度コントローラ
- 伸び計.....材料の伸びを測定するセンサー
- 伸び計カウンタ.....伸びを測定する装置
- データ収集ソフト...長時間のデータを一括監視するソフト



クリープ試験機専用の周辺機器を紹介します。これらの機器はお客様の要望に応えられるように開発された製品です。

## デジタル温度調節器 CF-1000

クリープ試験機用に開発された自動温度調節器です。電気炉のヒータに対して安定した温度制御を行うことができます。



## デジタル伸び計カウンタ DC-1000

最大20chまで伸び計測を行うことができるユニットです。



## クリープ専用計測ソフトウェア

クリープ試験機用に新しく開発された計測ソフトウェアです。伸び計カウンタ、温度計と接続して複数の試験機の状態を一括して監視することができます。



## 高温クリープ試験装置

各種金属材料の高温における長時間クリープの破断挙動を求めめるために用いられます。近年の技術革新に伴い高温高圧機器装置等で広く使用されている耐熱材料に不可欠な試験装置です。



連結財務諸表（概要）（単位：百万円、単位未満切捨て）

連結貸借対照表

科目	前期 2014年2月28日現在	当期 2015年2月28日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,637	3,920
現金及び預金	837	874
受取手形及び売掛金 <b>1</b>	1,690	1,978
たな卸資産	1,024	886
繰延税金資産	6	2
その他	118	213
貸倒引当金	△ 40	△ 36
固定資産	1,735	1,516
有形固定資産 <b>2</b>	1,370	1,254
無形固定資産	152	135
繰延税金資産	4	20
投資その他	582	560
貸倒引当金	△ 373	△ 453
<b>資産合計</b>	<b>5,372</b>	<b>5,436</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,144	2,936
固定負債	1,553	979
<b>負債合計 <b>3</b></b>	<b>3,697</b>	<b>3,916</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本 <b>4</b>	1,099	861
その他の包括利益累計額 <b>5</b>	575	657
<b>純資産合計</b>	<b>1,675</b>	<b>1,519</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,372</b>	<b>5,436</b>

**Point1** 受取手形及び売掛金

主に試験機事業における第4四半期の売上高の増加により、前連結会計年度末に比べ2億88百万円増加しております。

**Point2** 有形固定資産

主に連結子会社KHIの解散・清算に伴う減損処理により、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少しております。

**Point3** 負債合計

主に中国子会社の仕入増加に伴い買掛債務が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加しております。

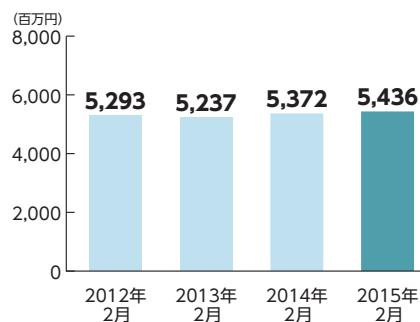
**Point4** 株主資本

主に当期純損失により前連結会計年度末に比べ2億37百万円減少しております。

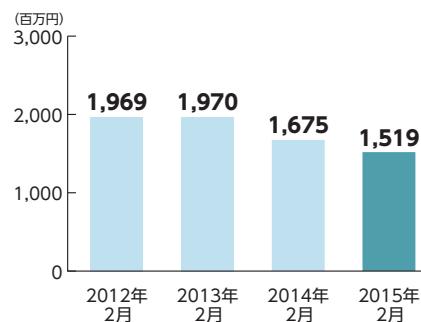
**Point5** その他の包括利益累計額

主に中国人民元に係る為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加しております。

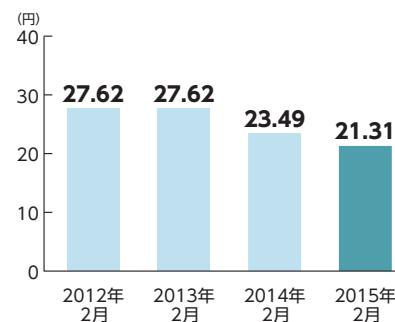
総資産



純資産



1株当たり純資産



## 連結損益計算書

科目	前期	当期
	2013年3月1日～2014年2月28日	2014年3月1日～2015年2月28日
売上高 <b>6</b>	5,772	5,837
売上原価	4,541	4,392
売上総利益 <b>7</b>	1,230	1,445
販売費及び一般管理費	1,433	1,398
営業利益又は営業損失 (△)	△ 202	47
営業外収益	44	71
営業外費用	119	65
経常利益又は経常損失 (△)	△ 277	53
特別利益	16	—
特別損失 <b>8</b>	82	211
税金等調整前当期純損失 (△)	△ 343	△ 157
法人税等	74	80
少数株主損益調整前当期純損失 (△)	△ 418	△ 237
当期純損失 (△) <b>9</b>	△ 418	△ 237

## Point6 売上高

売上高は前連結会計年度に比べ65百万円増加しております。試験機事業は64百万円、ゆるみ止めナット事業は36百万円それぞれ増加いたしました。また、住生活事業は36百万円減少しております。

## Point7 売上総利益

売上総利益は前連結会計年度に比べ2億15百万円増加しております。また、売上総利益率は3.4ポイント改善し24.7%となっております。

## Point8 特別損失

主としてゆるみ止めナット事業の製造を担っていた連結子会社KKHの解散・清算に伴う損失を計上したものであります。

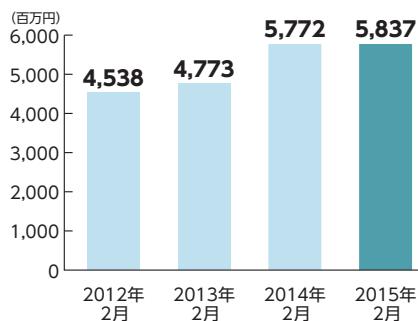
## Point9 当期純損失

売上総利益、営業損失、経常損失ともに前連結会計年度から改善しましたが、特別損失211百万円の発生と法人税等80百万円により、遺憾ながら2億37百万円の当期純損失になりました。

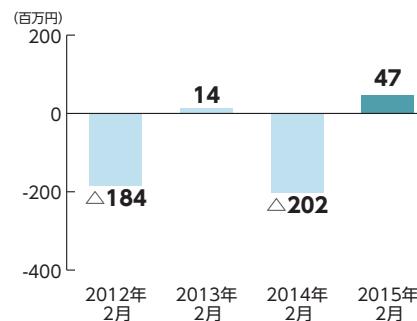
## 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前期	当期
	2013年3月1日～2014年2月28日	2014年3月1日～2015年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 109	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9	△ 41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1	23
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	8
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 78	32
現金及び現金同等物の期首残高	866	787
現金及び現金同等物の期末残高	787	820

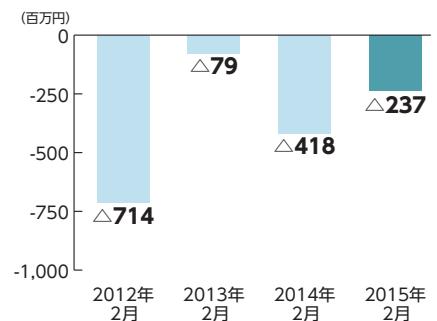
## 売上高



## 営業利益



## 当期純利益



## トピックス

### 中国事業の強化および子会社の再編について

当社は、本年2月16日の取締役会において、中国子会社5社のうち、江蘇省無錫市所在の無錫三和塑料製品有限公司（以下「無錫三和」といいます。）を中国事業の中核会社と位置付け、中国事業の強化および子会社の再編に向けて以下の施策を実行することを決定いたしました。

①無錫三和の増資の引受け

同社の新工場稼働に係る設備投資資金として、25.5万米ドルの増資を引き受けました。

②無錫三和に対する当社の瀋陽特可思木芸製品有限公司の全出資持分の現物出資

中国子会社のマネジメントを無錫三和に一元化するとともに同社の財務基盤強化を図ります。

③無錫三和の中核会社としての機能強化に向けた総経理を含む人材派遣

経営体制の強化と連携強化に向け、経営人材、技術者、営業担当者等の人材を派遣しました。

④特可思（北京）進出口有限公司の清算

営業拠点としての機能が見込めなくなったことから同社の清算手続きを進めております。

⑤上海参和商事有限公司の当社の全出資持分の譲渡

事業分野の選択と集中の観点から、当社保有の同社全出資持分を譲渡することとしました。



### Car Testing China 2015への出展

当社は、2015年8月26日～28日の3日間、中国上海市の上海国際博覧中心で開催される「Car Testing China 2015」に平面曲げ疲労試験機PBF-30Xを出展いたします。本展示会は、試験・計測機器の総合商社である電計貿易（上海）有限公司が主催する展示会で、低燃費車やエコカーの設計・製造における試験・検査・計測の技術や手法についてリアルな次元でアプローチし、品質や安全性向上に寄与しているテスト技術の現状と課題に迫ることをテーマにしています。また、本展示会と併せてカーエレクトロニクスの最前線にフォーカスする「Car Electronics China 2015」と生産体制強化に向けたソリューションを提供するFAやITにフォーカスする「Car Automation China 2015」も開催されるため多くの来場者が予想され、当社グループの製品・技術を中国市場に積極的に展開する良い機会となることを期待しております。



## 株式情報 (2015年2月28日現在)

### ● 株式の概況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数*	71,337,916株
株主数	3,442名

\*上記の発行済株式の総数には、自己株式24,785株を含みます。

### ● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社A.Cホールディングス	27,379千株	38.39%
オカザキファンド投資事業 有限責任組合	5,242千株	7.35%
日本証券金融株式会社	1,188千株	1.66%
岡崎 由雄	1,050千株	1.47%
株式会社M.O.Cグループ	1,000千株	1.40%
田崎 功	510千株	0.71%
中束 文和	347千株	0.48%
政所 晴彦	336千株	0.47%
前田 喜美子	324千株	0.45%
東京衡機従業員持株会	294千株	0.41%

\*持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式(24,785株)を控除しております。

### ● 株式の分布状況



● 事業法人等	34,521千株	48.39%	● 1単元未満	196名	5.70%
● 個人・その他	33,923千株	47.55%	● 1単元以上	1,954名	56.77%
● 金融機関	1,420千株	1.99%	● 5単元以上	482名	14.00%
● 証券会社	1,043千株	1.46%	● 10単元以上	655名	19.03%
● 外国法人等	404千株	0.57%	● 50単元以上	84名	2.44%
● 自己名義株式	24千株	0.04%	● 100単元以上	71名	2.06%
合計	71,337千株	100%	合計	3,442名	100%



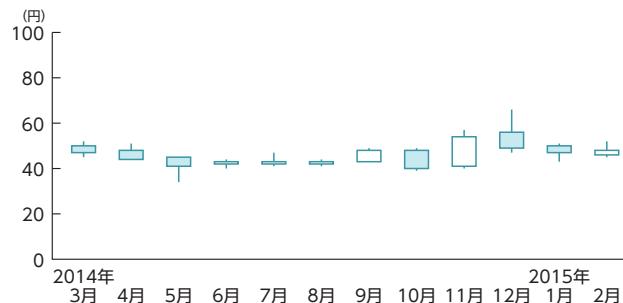
## 会社概要 (2015年2月28日現在)

商号	株式会社東京衡機
本社所在地	神奈川県相模原市緑区三井315番地
本店所在地	東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
創立	1923年(大正12年)3月20日
資本金	27億1,355万2,013円
従業員数	95名(連結435名)(平成27年2月28日現在)
事業内容	試験・計測・計量機器、ロードセル、圧力検出器、歪ゲージ、トルク検出器等のセンサー類その他の関連機器の製造・販売、受託試験 プラスチック成型品、木工品、射出成型用金型の製造・輸入・販売、健康関連商品の販売、ゆるみ止めネットの販売
建設業許可	国土交通大臣許可(般-25)第17917号

## 役員等 (2015年5月28日現在)

代表取締役会長兼社長	石川 隆一
常務取締役(兼 専務執行役員 試験機技術部門担当)	佐藤 良則
常務取締役(兼 専務執行役員 グループマネジメント担当)	勝部 康男
取締役(兼 常務執行役員 試験機営業部門担当)	川松 満
取締役(兼 常務執行役員 営業開発部門担当)	平田 真一郎
取締役(社外取締役)	竹中 洋
取締役(社外取締役)	花島 浩
常勤監査役	遠藤 栄一
監査役(社外監査役)	藤田 泰三
監査役(社外監査役)	田野 春風
会計監査人	新日本有限責任監査法人

### ● 株価の推移



## 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同上連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告 (掲載 URL <a href="http://www.tksnet.co.jp">http://www.tksnet.co.jp</a> ) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

東京衡機ホームページ  
<http://www.tksnet.co.jp/>

IR情報はこちらからご覧いただけます。



### ロゴマークについて

“技術力”“獨創性”“人”“伝統”全てをリンクさせ、一丸となって新しい時代へ向かう東京衡機の姿を表現するため、「青」「赤」「緑」「紫」を“光のイメージ”に展開しています。

#### 青：東京衡機の技術力

真っ青な海や空を眺めていると不思議と心が安らぎ、ポジティブな気持ちになります。そのことから「青」は冷静、自立、希望を象徴し、また知性、誠実のイメージをもつ色といわれています。次代のシーズを冷静に判断し、お客様のご要望に的確に応えるため、あらゆる知性を集約した、東京衡機の“技術力”を「青」で表現しています。

#### 赤：東京衡機の獨創性

万物に恵みを与えてくれる太陽の色「赤」は、外へと向かうパワーを感じさせます。

情熱、エネルギー、ダイナミック、活動的なイメージがあり、幸運を招く色としても知られています。新しい次代へ挑むエネルギーとなる、東京衡機の“獨創性”を「赤」で表現しています。

#### 緑：東京衡機の人

自然の美しさや木々の芽吹きを連想させる「緑」は、すがすがしさ、新鮮さ、新しい可能性、生命力を象徴する色です。いつまでも新鮮で、新しい可能性に満ち、時代を乗り越える生命力を備えた東京衡機の財産“人”を「緑」で表現しています。

#### 紫：東京衡機の伝統

染料の入手が困難なこと、染め出す技術が高度なことより、古来から「紫」は高貴な色として崇められ、また伝統、古典のイメージをもつ色です。1923年創業という長い歴史を誇る、東京衡機の“伝統”を「紫」で表現しています。

株式会社 **東京衡機**  
TOKYO KOKI CO., LTD.

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地  
TEL 03-5207-6760 FAX 03-5298-1802

